

令和5年5月 新宮町教育委員会定例会 会議録

1. 開催日時

令和5年5月24日（水） 9時30分から10時33分まで

2. 場所

新宮町役場 3階 第2委員会室

3. 出席者

小川教育長、吉松委員、横山委員、本多委員、小池委員

4. 欠席者

なし

5. 出席職員

森学校教育課長、桐島社会教育課長、三船学校教育課長補佐、高木社会教育課長補佐、高口指導主事

6. 欠席職員

大里指導主事

7. 日程

○ 日程第1 開会の宣告

(小川教育長)

ただ今から5月の教育委員会定例会を開会いたします。

出席委員は4名で、全員出席です。

なお、事務局職員は大里指導主事が欠席です。

9時30分開始

○ 日程第2 会議録署名議員の指名について

(小川教育長)

会議録署名議員は会議規則第17条の規定により、教育長及び会議で決めた委員の1名となっておりますので、今回は本多委員をお願いいたします。

よろしくをお願いいたします。

○ 日程第3 教育長の報告事項

(小川教育長)

(資料により、東京都で5月15日に開催された全国町村教育長会の報告及び説明)

① 働き方改革について

(小川教育長)

質問等はありませんか。各委員の御意見等をお伺いします。

(本多委員)

私は、以前アメリカやイギリスなどに住み、働いた経験をもとにしかお話しできないのですが、欧米の例を見ると、教員の役割分担が非常に明確になっており、日本と大きく違うのは、日本では担任の先生が全て一気に引き受けるという、担任集中型だということ、自分が学生のと看から、そういう制度なのだなどずっと感じていました。例えばイギリスの場合では、担任の先生というものが基本的には存在しなくて、小学校の段階から、クラス担任制ではあるのですが、基本的には専門科目の先生が専門の科目をそれぞれ教えるという形になっていますので、責任の所在が分散化し過ぎるという印象はありますが、教員の負担は非常に少ないのではないかと思います。色んな形が私立・公立で違いますが、やはり海外の教育制度と比べると、日本においては本当に役割分担が出来ていないということと、人員が少ないという、そこに尽きるのではないのかなと感じます。そのため、細かくスクールカウンセラーのような方以外にも保護者との橋渡しをする先生が担任の先生とは別におられます。ですから、担任がそこで対応するのではなく、担任も含めたいろんな方の意見をまとめて、その保護者対応をする先生の代表が最終的に出ていくという形になるので、対応について担任1人だけが見落とししたということではなくて、全員で対応していくという形をとるので、日本も少しずつそういう形にもなっていかなければいけないのではないかと思います。あと、今一番大事なことは、人員を多く入れることではないかと思います。

(吉松委員)

担任が全てのことを背負わないといけないということは、本当にそのとおりだったと思います。昔はお金の徴収もしていました。お金が入った袋を事務室に持って行って仕分けをしたりしたこともありました。子ども達の授業に関わるというところを担任としては一番力を注ぎたいところなので、そういうことができるようになっていくことを望みたいと思います。ただ、全てに関わっているからこそ、見えてくるところも確かにあるので、その辺の良い部分をどのようにとってくるかということが大切なのではないかと思います。ただ、具体的にどのようにしたら良いのかという案はないのですが、全てに関わっているからこそ、子どもの色んなところが分かって、心のケアまでできるのではないかと感じておりました。

(小池委員)

今、御二方の話を聞いて、なるほどなという思いがしています。ただ、今の日本というか、例えば福岡県や新宮町の現状からみると、保護者の学校に対する期待というのはまだまだ変わらないので、担任の先生の役割に対しても、保護者御自身が子どもの頃のイメージのまま持っておられるので、そのイメージがなかなか払拭出来てないのではないかと思います。やはり、そこが一番大きいのではないかと思います。そのため、極端な例えでいうと、学校帰りに不審者に遭遇したとしたり、学校に連絡される場合があるんですよ。何で警察ではないのですかと。そういう一部の保護者の意識、何でもかんでも学校で対応すべきだろうという意識がすごく強いのではないかと思

います。田舎に行けば行くほどというのは変な言い方ですけど、そういうことが良い部分でもあるし、そういう役割を地域の中で学校が果たしてきたという良いところでもあるし、今、御指摘いただいたような弊害が出てきているというところもあると思います。確かに、一番の問題の対策としては、やはり教員の人数を増やさなければならぬことだと思います。諸外国では1クラス20人ぐらいの子どもしかいないのですが、日本ではいつまでも35人学級の実現を要望されている状況なので、やはりその絶対数の考え方に大きな差があるのではないかと。また、教師側からすると、もう一つは、中学校では部活動があって、部活動をとおして生徒に指導することの面白さで教師になった人もたくさんいます。その部活動に携わることで、部活動を支える保護者の皆さんが担任の先生に対してすごく信頼を置かれるという側面もあり、部活動ということがかなり大きな役割を果たしているのではないかと思います。

それで、本多委員がおっしゃったこと、やはり人員を増やすことが、まず、第一かなと思います。それともう一つは、教員が自分の専門性を磨くような時間的余裕と研修、それから人的配置をしていかなければならないということが、今、期待されているところではないかと思っています。もう一つは、新宮町もやっておられるコミュニティスクールですが、地域と学校が連携して子どもを育てていくという良い面があるのですが、一方では、学校が担わないといけない業務が非常に多岐にわたることになり、しかもその業務も薄く、広くなってきているのではないかと危惧する側面もあるのではないかと考えます。

(横山委員)

今、3人の委員の方が言われたとおりだと思うのですが、自分が思うことは、教員の制度、仕組みを根本的に変えていかないと厳しいのかなということ。先ほどの説明にありました給与の4%増の話もですが、給与を増やしたから人が増えるかというと、多分、今の教員の価値観が年代、世代で全然違うと思います。働き方改革も含めて、仕組み自体が変わらないと多分なかなか教員も集まってこないし、先ほども言われたように、家庭で本来は完結しなくてはいけないところを、学校の責任に転嫁している部分も多分あるのではないかなとすごく感じます。また、その部分の先生方の負担というのはすごく大きいと思っています。では、どうしたらいいのかと考えると、なかなか難しいのですが、コミュニティスクールについては、色んな形で地域を巻き込んでという話なのですが、良い意味で戦略的にコミュニティスクールを推進し、保護者との関係性を築いていながら、事案ごとに家庭の役割として、保護者の責任において完結してもらわなければいけないことなどをしっかり伝え、担っていただくようにしないといけない。これが学校の責任として全て押しつけられるということになれば、なかなか人材は集まってこないのかなと思うので、仕組みの全体的な構造改革というのが必要かなと思っています。

(小川教育長)

皆様からいただいた貴重な御意見を参考にしながら、今後も様々な場面で、こちらからも意見を述べさせていただきたいと思っています。ありがとうございました。

○ 日程第4 議事の審議

第11号議案 新宮町教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則の制定について

(森学校教育課長) (議案により説明)

(小川教育長)

質問等はありませんか。(特になし)

(小川教育長)

本議案を承認してよろしいですか。(全員承認)

第12号議案 新宮町教育支援委員会設置規則の一部を改正する規則の制定について

(森学校教育課長) (議案により説明)

(小川教育長)

質問等はありませんか。(特になし)

(小川教育長)

本議案を承認してよろしいですか。(全員承認)

第13号議案 新宮町就園指導委員会設置規則の一部を改正する規則の制定について

(森学校教育課長) (議案により説明)

(小川教育長)

質問等はありませんか。(特になし)

(小川教育長)

本議案を承認してよろしいですか。(全員承認)

○ 日程第5 諸報告

1) 令和5年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

(令和4年度対象)について

(森学校教育課長・高口指導主事) (資料により説明)

(小川教育長) 質問等はありませんか。(特になし)

2) 学校教育課の報告について

(森学校教育課長) (資料により学校教育課の報告)

① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定
- ・ 新型コロナウイルス感染症への今後の対応について
- ・ 令和5年度の工事等について

(詳細は、三船学校教育課課長補佐が説明)

② 連絡事項

- ・ 福岡県新任等教育委員研修会について
- ・ 九州地区市町村教育委員会研修大会

③ その他

- ・ 給食費について

(小川教育長) 質問等はありませんか。

(本多委員)

2点ほど質問させてください。1点目は、今の給食費の不足についてなんですが、不足する原因というは、例えば給食費の徴収が遅れている家庭がたくさんあるからだとか、物価の高騰であるとか、色々あると思うのですが、分かる範囲で教えていただければと思います。

(森学校教育課長)

給食費については、物価の高騰による影響によるものです。昨年まで給食費は現在の価格で何とかぎりぎり持っているということでお話をさせていただいていたのですが、一番影響がある福岡県学校給食会の単価が4月になって平均値で約11パーセント上がっていると聞いています。

この物価上昇が今後も続くようであれば、これまで同様の給食提供が厳しいということになりましたので、今回、給食費を上げるという検討を始めたところです。基本的には保護者の負担は増やさず、国の補助金などの活用もしながら、給食費の上昇分については町が補助するところで検討を進めているところです

(本多委員)

2点目ですが、資料1において、学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルの御説明をいただいたのですが、新型コロナウイルス感染症も5類のインフルエンザと同じ扱いになるということで、今まで新型コロナウイルスにかかった子どもであるとか、濃厚接触で自宅待機という子どもについては、基本的には希望があればオンライン授業を受けた子どもが多かったと思うのですが、これから学校の対応がどのようになるのかと、現状はどうされているのかとを教えていただければと思います。

(森学校教育課長)

自宅待機が5日間ということなので状況にもよるでしょうが、実際に休まれる期間が短ければ、もうオンラインでやらない可能性もあるのかなと思いますが、学級閉鎖とかなればオンラインを活用したやり方もするのでしょうか、今のところ、休んでいるからオンラインを使って授業をしているということまでは聞いてはいません。今月に入り、調査もしなくなりましたので、実際に罹患している方がどれだけいるのかは分からないのですが、3月で2件、4月で6件ほどの感染者数しか報告が上がっていません。そのため、土、日などを含めると、多分、休みが2、3日で済んでいるのかなと思っています。そういうことから、具体的には確認できてはいませんが、多分オンラインの対応までは出来てないのではないかと思います。

(本多委員)

希望があれば、学校のほうではまだ対応すると、オンラインはしないと決定したわけではないという形であればいいのではないかと思います。そこはどのような対応をされているのですか。

(森学校教育課長)

希望があれば、学校の方は対応すると思います。

3) 社会教育課の報告について

(桐島社会教育課長) (資料により社会教育課の報告)

① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定

② その他

- ・ 第47回社会教育関係団体等指導者研修会について
(詳細は、高木社会教育課課長補佐が説明)
- ・ 町立図書館利用状況及び行事予定

(小川教育長) 質問等はありませんか。

(吉松委員)

6月11日に開催される子ども相撲大会は、久しぶりということもありましょうし、コロナ禍を経て意識が少し変化することもあるだろうし、参加人数はどうなっていくのだろうかと考えているのですが、もし把握しておられましたら教えてください。

(桐島社会教育課長)

参加人数につきましては、昨日、監督会を開催したばかりで正確な人数は出てはいませんが、例年に比べてかなり少ないと聞いています。参加人数が分かりましたら今後の連絡もしくは報告する機会の中でお伝えたいと思います。

(吉松委員)

私も過去に応援に行ったときに、すごく盛り上がっていて、地域のつながりが強くなるところがあるのかなとは思いましたが、数日前にある行政区では出場を取りやめるという話も伺いましたので、参加することによる良いところ、逆に負担に感じられるところ、それをどうにかうまくつなぎながら、取り組んでいくことが必要なのかなと思いましたが質問させていただきました。

(桐島社会教育課長)

吉松委員がおっしゃるとおり、現在、子どもたちの行事をしても、昨年行われた駅伝大会や子どもスポーツ大会、寺子屋事業なども例年の半数以下の参加状況になっており、いずれの行事もかなり厳しい状況にあると考えております。今後は、今回予定している社会教育関係団体指導者研修会などをおして、様々な方策や方向性を見出しながら、何とか地域のつながりを保っていければと考えております。

(本多委員)

私は花立花区に住んでおまして、花立花区では今年、相撲大会への出場はゼロで、隣の立花口区もゼロだったのですが、立花口区では1年生のお母さんが声かけをされて、3人の1年生が出るようになったというお話を伺っています。これらの活動はこれまでは地域の育成会役員の方が主に働きかけをされていたのですが、やはりコロナ禍でその活動が止まってしまい、結果、3年ぐらい止まってしまったため、お母

さんたちも初めての経験で、選手を募るやり方というか、行事自体の宣伝の仕方のようなことも全く引き継ぎや提示がなされてないため、活動が止まってしまっているようです。

これからは一から以前と同じ状態、同じ形に持っていく必要はないと思うので、新しい形を模索しなければいけないと思うのですが、このままだと、行事を実施したら大変、しなければ御家庭や地域の役員さんなどは負担が軽くなるでしょうが、子どもたちの、その時しか出来ない教育の機会を大きく奪ってしまっているのではないかと非常に懸念されますので、ぜひ、町主導で地域活動推進の働きかけというか、宣伝活動みたいなことをしていただくと、以前のように地域活動も活性化されるのではないかと思います。

(桐島社会教育課長)

様々な形の周知方法を模索していかなければいけないと考えております。これまでどおりの周知の仕方ではなかなか難しいのかなと思うところもございますので、今後もそういうところも気をつけながら進めていきたいと思っております。

○ 日程第6 その他

1) 教育委員会定例会の日程について

(森学校教育課長) (日程確認)

・ 6月定例会

令和5年6月28日(水) 9時30分から (確定)

・ 7月定例会

令和5年7月26日(水) 9時30分から (予定)

○ 日程第7 閉会の宣告

(小川教育長) 以上で5月の新宮町教育委員会定例会を閉会します。

10時33分終了

署名 教育長 小川隆弘

署名 委員 本多陽子